



# 全施連 全国大会報告

## 第7回全国知的障害者施設家族会連合会全国大会「ちび」が「考えよう！我が子が安心して暮らせる場を」のテーマのもと、平成23年度全国知的障害者施設家族会連合会全国大会が9月13日（水）・14日（木）、ホテルニューオータニ幕張において開催された。

この全国大会の概要をプロگرامに沿った形で報告します。

## 開会挨拶

### 全国的障害者施設

家族会連合会  
会長 由岐 透

東日本大震災は、マグニチュード9.0の地震・津波、そして、人災ともいえる福島原発事故で、障害を持つ多くの人たちの尊厳が奪われ、又今なお故郷を離れ避難所で暮らす人のこれから生活の見通しがついていない。被災地の皆様に心からお見舞い申し上げます。

ここ千葉も被害があり、全国大会を開催すること危ぶまれました。関係団体のご尽力で開催でき盛大な大会を迎えられたのは、わが子らが結んでくれた強い絆と縁を実感します。

障害者自立支援法違憲訴訟団と国との基本合意が交わされ、障害者制度改革推進会議・部会で議論が始まった時は暗闇に光を見た心地、これで日本の障害福祉は変わるかと希望を持ちました。が私たちの願う根本的な事はなにも変わっていない。

8月30日総合福祉法骨格提言が出されたが、私たちが期待する法が出来るか疑問です。



知的障害をもった我が子らは一人一人大切な存在です。一人一人が同等に大切にされる社会を実現するには家族一人一人が今後とも知的障害者の我が子らを真剣に守り抜く決意が必要で



利用者負担の応益負担化は直接契約にして、市町村はかかったお金だけ出し税からの負担減らすことです。障害福祉では介護保険を基にした支援費制度です。医療・福祉特に福祉では国が責任を負う仕組みでないとうまく

## 基調講演（要旨）

「障害者総合福祉法の 展望と入所施設の在り方」  
講師：鹿児島大学法科大学院教授 伊藤 周平氏

8月30日、総合福祉法の骨格提言の中で入所施設はどう変わっていくのか、どうしても重度で入所施設が必要な人はどうしていけばいいのか。今の政治の在り方、政策の動向を話したい。

## 介護保険をモデルとした社会福祉の再編

介護保険制度が2000年4月施行されるまでは市町村の責任で、高齢の人・障害のある人にお金でない現物給付の形で色々な支援・サービスを提供していた。社会福祉基礎構造改革は、措置制度を契約制に変える改革で介護保険は公的責任という性格がなくなり、一人一人保険料を払い、自治体はお金さえ出せばいい仕組みとなった。

いかならないのですが、自立或いは自己責任という事が利用者にも求められた。

今回の提言では契約制度に全くふれていない、契約制度を残せば応益負担になる。今の契約方式を廃止しないと、単に応益負担と日割り方式を直したただけで問題は解決しない。一時的に負担を軽減し、自己負担にしているが、いつでも運動が弱くなれば戻せる。自分で自己主張できない、契約という事自体になじまない人も沢山いる。

## 進まない新法の検討と改正障害者自立支援法の成立

民主党政権で障害者自立支援法

を廃止し、自立支援法に変わる法律を作り、2013年8月から実施するとしてきた。

閣議決定された制度改革推進本部についても当事者の参加は画期的なことですが、親も入っています。本人・当事者という中心です。本人・当事者が中心にならざるを得ない。

2010年4月、総合福祉部会が出来、検討が進められてきたが、応益負担については理念の議論ばかりで給付体系・自治体の責任・契約制度自体どうするの具体的な議論は殆どされていない。障害程度区分についてはかなり問題があるという事で改定が打ち出された。

昨年12月に改正した障害者自立支援法は新しい総合福祉法が出来るまでのつなぎを強調しているが、施設体系への移行は大きな問題は、児童福祉法の改正です。障害児療育についても自治体責任ではなく自己責任の直接契約・利用者補助にしました。

施行期日が、2012年4月1日です。改正障害者自立支援法をそのまま障害者総合福祉法とする可能性は大きい。「社会保障と税の一体改革」のなかで、消費税を上げ、社会保障の経費に使うと謳われているが、障害福祉はなにも書かれていない。

## 障害者制度改革の動向と施設入所の在り方

もう施設はこりこり、私は一人でもアパートに住んでみたい、それはいいが一般化してはいけません。みんながみんなできるわけではない。自立支援法で就労支援の強化と共に障害福祉計画の作成を通じて、施設整備の抑制

を進め、十分な受け皿も無く地域の意味もはつきりしない地域生活に1割以上移行することを目指している。社会保障は、失業しようが、障害を背負おうが、病気になろうが或いは高齢になろうがどんな状態になっても、すべての人に国や自治体の責任で健康で文化的な最低限の生活を権利として保証することです。

ノーマライゼーションの理念は施設の在宅化です。施設を出来るだけ地域生活に近付けることです。施設は時代遅れだから在宅というのを受け皿もなく乱暴すぎる。施設は少ない、支援員も手薄、そこをまず改善することが最初と私は思っている。

## 知的障害者福祉政策の課題

今度改正法でも応益負担を応益負担にしたと言っているが実態は応益負担です、今回の福祉部の提言で、介護保険優先適用をやめると言う提言が出ているが、介護保険を無くす仕組みにしないと整合性が取れない。自分たちが法案も考え、高齢者も含めた真の総合福祉法にすべきです。

我が子たちは自分が亡くなつた後の危機意識の中からはよりよい社会を作りたいという希望があつたと思うが、障害者だけでなくなればいというのではなく、社会保障・社会福祉全体を良くしていかないと障害者運動が孤立して埋没していく。

その方向を押しとどめるには、障害福祉の分野だけでなく子供の分野などにも目を向け、税制のあり方と社会的責任を強化した障害者福祉制度にしていく必要があると考えている。

# シンポジウム

## 知的障害者の 高齢化対策

### シンポジスト

落合 文雄氏

(福) かながわ共同会顧問  
佐久間 智氏

千葉県地域定着支援センター  
生活サポート千葉理事

山下 更正氏

知的障害者施設  
東京多摩学園統括施設長

八木トミエ氏

福岡県知的障害者施設  
保護者会連合会会長

コーディネーター

岩本 邦雄氏

全国知的障害者施設家族会  
連合会副会長



初めに4人のシンポジストそれぞれ立場からの意見で、落合氏は私の知的障害者高齢施設は、直接処遇面、施設設備面、体制面いずれも最先端の高齢者対応施設と自負している。

設は、直接処遇面、施設設備面、体制面いずれも最先端の高齢者対応施設と自負している。思いがけない発病への対応も工夫を凝らし、設備も自立的に改善。支援に必要なもの、ソフト・日常生活の工夫も含め、生き生きと生きられる、暮らせる手立てを講じている。家族に地域サービス或いは入所者の新たな事業を一緒に興してほしい。

佐久間氏は知的入所施設での高齢者支援の課題として、  
1、日常生活の介護、特に心の支援。  
2、健康管理・医療的支援。  
3、家族の方とのつながりが遠くならないように。  
4、高齢化に対して支援するものが、知識・人生共に非常に未熟。  
5、施設の設備が不整備。  
6、介護保険との連携がなかなか取れない、また、昼夜一体化した支援が必要である事。

山下氏から施設の立地条件で高齢者は近くの特養をお願いしていたり、介護保険法で利用が難しくなり、軽費老人ホームを満足させた。色々な問題は起きているが、使える資源を使い、知的高齢者が放浪しないよう向き合っていく。経験から入所更生施設がベスト。

八木氏は保護者の立場で要望。改善事項を出し活動してきた。施設事項を在宅化を理想として暮らしている。これからの運動は、高齢化はすでに起きているので、安心して快適な施設を建て、地域の人にも福祉として役立つ施設にすることを一歩一歩でも目指す。

会場の伊藤教授から、職員の配置を含めた新たな体系、本来のナーシングホーム(福祉+医療)というような構想をもつ必要の

## 東日本大震災の 体験報告と 将来の防災への提言

助言がなされた。

### 発表者

宮城県知的障害者施設親の会連合会

会長 大野 真知子氏

### 提言者

全国知的障害者施設家族会連合会  
副会長 南 守氏

3月11日マグニチュード9の地震発生。その揺れは北海道から近畿地方まで広範囲に及び、大津波は宮城・岩手・福島に大きな被害をもたらしました。被災者も情報が錯綜して定かではなかった。半年を過ぎ、死者行方不明者は二万人を切つていますが津波さえなければこんなに多くの犠牲者を出さずに済んだと思う。宮城県は99%の確率と言われ、最初は軽い気持でいたのですが、揺れは非常に長く、食器などが壊れる音が収まりません。これはやばいことになったと



川の幅は家から4km程の名取川をみ込みながら逆流していました。幸い私の所は津波の被害はありませんでした。ライフラインが止まり、携帯電話も繋がらず唯一の情報源はラジオです。安否情報を聞きながら施設の子たちは暗闇の中どんな思っているか職員は大変だろうな、今どんな状況になつてたのか眠れない夜を過ごしました。すくきれいな、不気味な位の星空でした。三日目にやつと園と連絡が取れ、利用者・職員みんな無事を確認できました。施設の建物にも被害はなく安心です。電気の方が一週間けを始めた。その時私に何が出来るのかと私に思いました。インターネットで東日本大震災被災者支援センターの支援本部・みやぎ支援センターが来ていて、そのことを見てお手伝いをさせて頂きました。グーグルにそれぞれの避難所に障害者がいるかどうかの調査をした。をされるんですが、障害者の把握は個人情報でされていなかった。小さな施設などは掃除の高速洗浄機から無確認してほれ、そのういから細いことも含めて、嬉しかった。現実には、肌を感じた戦慄感。津波ではなくその場に立つては、決して忘れられない。さ、震災で思うのは、縁の大切さ、施設でつながり、組織の大切さ、確認がしやすい。情報や支援物資も届きやすい。施設利用の方は避難所生活に

対応できず大変困って見えた。何が大事なのか、何が必要なのかを行政は柔軟に考えて頂きたい。災害発生時の福祉避難所は災害時に必要に応じて開設される二次的避難所です。また、自衛隊に救助者が運ばれてきて福祉避難所となったところがある。社本は超法規的な所で国が対応してはたさなければいけません。いかなければならぬ。経験個人情報の開示・福祉避難所・障害者も暮らせる仮設住宅・ネットワークづくりと問題は沢山の使命と想っている。

### 提言者の南副会長から

食糧などを備蓄することが非常に大事  
情報伝達では一長一短があるが、無線・伝言ダイヤル・災害用伝言版がある事  
施設と家族会の協力。地域の方にも避難のための地域拠点となる入所施設としての役割も

### 決議文の採択

岩本副会長より左記のようない平成23年度全国大会決議が満場一致で採択されました。

- 1 入所施設存続の必要性を訴え備を共に入所施設の充実・整備を図る活動
- 2 知的障害者が望む暮らし方を選択できる仕組みを作る活動
- 3 障害者自立支援法の廃止への取り組みを進める活動
- 4 障害者自立支援法に替わる新たな法律は、全ての障害を持つ人の生涯を見据えた福祉の向上を目指す活動

平成23年9月14日



# 各支部からのトピックス

## 全国大会に参加して

兵庫の参加者より

昨年は神戸開催でしたので、県外での参加は初めてでした。

神戸空港へ集合で、航空券もかぞくねっとが準備し

てくれたので安心して参加できました。

大会は立派なホテルの会場がいっぱいでした。全施連の勢いを表しているようでした。

自分の子供の事だけ、しかも今の暮らして精一杯だと思っていました。こんなに大勢の全国の人が子供らの将来を見据えた幸せを考えておられる事に感動しました。

現在、神奈川施保連では今年夏に実施したアンケート調査を集計中です。今回が第3回目の実態調査です。このアンケート調査の主題は「地域移行」と「高齢化対応」の調査です。障害者自立支援法の施行以降、神奈川県では政令指定都市を中心に障害者自立支援法への移行が進んでいます。

## 東日本大震災義援金被災県へ贈呈

3月11日、想像もできない大地震と津波が東日本を襲いました。追いつちをかけるよう原子力発電所の事故です。事務局のある神戸は阪神大震災を経験し、災害時の知的障害者やその施設の大変さを身にしめて知っています。(今回の東日本の大震災はそれ以上ですが・・・)義援金もなかなか届かないことも。

そこで、私たちの仲間には届届けられる募金が出来ないものかと考え、全施連独自の募金を呼びかけました。どれくらい募金が集まるか予測も立たない中スタートしましたが、なんと全国より37,558円(9月10日現在)が集まりました。皆様のご協力に感謝に致します。

正副会長が宮城(500万円)、岩手(200万円)、福島(200万円)を訪問し、義援金を手渡してきました。

それが各施設にどのような影響が出ているか実態調査を続けてきましたが、今回はさらに入所施設が直面している課題のいくつかについて調査したものです。

あのおう、利用者の方の下着を買わせてもらっていいのですか?とそつと話されたと聞きました。

全国大会では関東3県にも贈呈されました。計千六百万円。それぞれで一番必要なものに使いたい方をしてもらえれば、全国の仲間の思いが届けるのだとうれしく思います。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

調査対象は加盟保護者会等の限られた情報ですが、やるたびに実態把握の重要性を実感しています。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。



東日本大震災義援金被災県へ贈呈の様子

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。

また、デンマークからは知的障害者によるチャリティコンサート。